

進路だより



富岡特別支援学校

移行支援部 No. 7

令和7年12月25日(木)

中学部 就業体験を終えて

11月25日(火)から12月1日(月)に、今年度2回目の就業体験がありました。就業体験では、一人一人が自分の目標を立て、一週間作業に取り組みます。一週間、毎日作業に取り組むのは大変ですが、実習が終わる頃にはどの生徒もやり切った表情をしていて、達成感を感じている様子が見られました。一学期の就業体験に比べると、どの生徒も集中して作業に取り組めるようになっていたり、相手に聞こえる声で挨拶や報告ができるようになっていたり一人一人に成長が感じられました。



缶つぶし



園芸



機織り



校外清掃



アイロンビーズ細工

PTA 進路研修会・職員校内研修のご案内 1月14日(水) 16:00~17:00

先日配付のとおり、「進路実現に向け在学中から準備しておいた方がよいこと」と題し、リンクカラフル富岡の山田様にご講演いただきます。在校生の現場実習や卒業生がお世話になっています。ぜひご参加ください。



就労支援員の紹介

本校の就労支援員の高柳智さんです。「就業体験や就職先となる企業を新たに開拓すること」、「企業に対する特別支援学校への理解促進」を担っています。群馬県では現在、7名の就労支援員を知的特別支援学校13校に配置しています。

★自己紹介★

地元金融機関に勤務後、令和2年10月より就労支援員として生徒の卒業後の進路先開拓、特に一般就労に向けた現場実習先を含む企業開拓を行っています。富岡地域の企業は障害者雇用に対する理解・関心度が高く、過去の一般就労した生徒の多くが、希望したとおりの就労ができています。また、来年7月より法定雇用率が2.7%に引き上げと追い風も吹いています。今後も、生徒が希望する企業へつなげていけるよう努力して参ります。現場実習したい企業があれば、担任または進路指導主事に伝えていただければ幸いです。

★保護者へのメッセージ★

家庭での様々なことが就労につながります。食事をしっかりバランスよく摂る等の健康な体づくり(健康管理)、夜更かしをせず起床し、学校を休まない・遅刻しない等の規則正しい生活リズム、学校への持ち物の準備、身だしなみを整える、自力通学等々(日常生活管理)。これらの日々の積み重ねが働くことの土台となります。家庭でできることを意識して継続し、できることを増やしてほしいと思います。